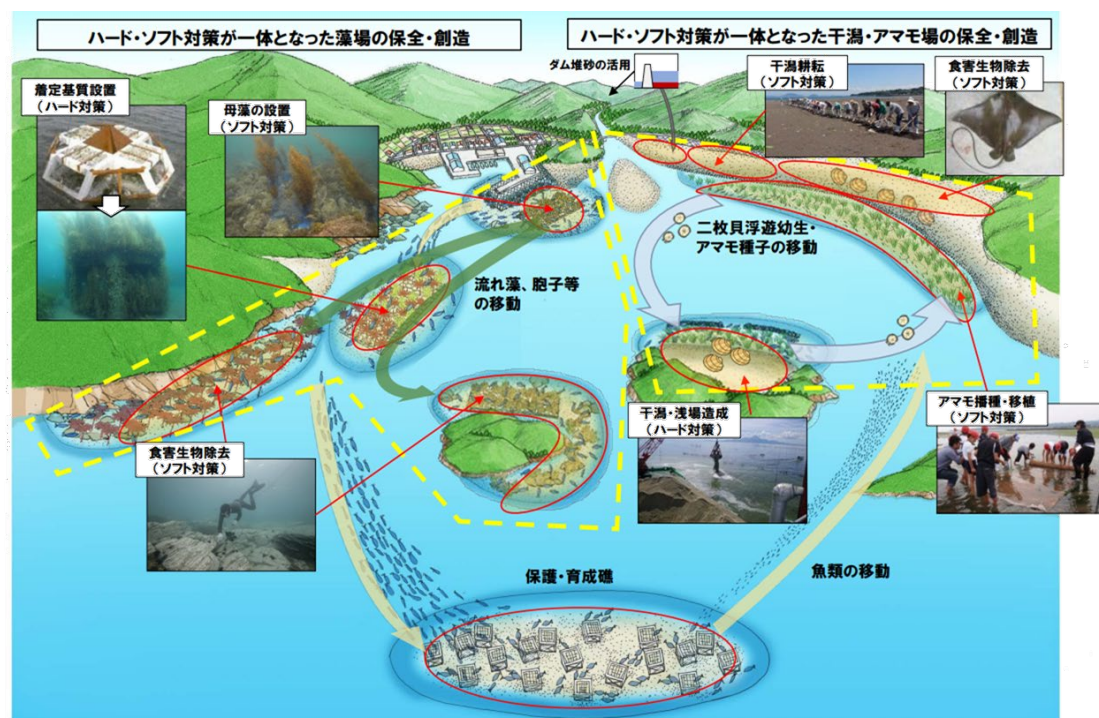


藻場・干潟ビジョンとは

- 実効性のある効率的な**藻場・干潟の保全・創造対策を推進するための基本的な考え方**をとりまとめたものであり、**各海域の藻場・干潟ビジョンの基本的な指針**となるもの（平成28年1月に公表）。
- 具体的には**次の4つの視点を重視**しつつ、各海域環境に的確に対応した形で、対策を実施していくことを提示。
 - ◇ 的確な衰退要因の把握
 - ◇ ハード・ソフトが一体となった広域的対策の実施
 - ◇ 新たな知見の積極的導入
 - ◇ 留意事項（地方自治体中心による実施体制構築、漁業者等の自主的管理、成果の発信等）
- 国のビジョンに基づき、**全国80の各海域の藻場・干潟ビジョンを策定**（令和5年9月時点）。

藻場・干潟ビジョン（平成28年1月公表）



見直しの主な背景

- 藻場・干潟は、近年、**二酸化炭素を吸収するブルーカーボン生態系として注目**されている。
- みどりの食料システム戦略（R3.5月農林水産省策定）や漁港漁場整備長期計画（R4.3月閣議決定）等の各種戦略・計画にもその役割と重要性が明記され、**一層の藻場・干潟の保全・創造を推進**することが必要。
- 一方、藻場・干潟の保全活動を担う漁業者等の**高齢化や担い手不足**が進む中で、**持続可能な保全体制の構築が不可欠**である。また、これまで様々な知見が集積されてきたが、**さらなる工夫やあらゆる関係者との連携**による取組が必要。
- これらの状況を踏まえて、**藻場・干潟ビジョンの所要の見直し**を行い、各海域における持続可能な**保全体制の構築を促す**とともに、**カーボンニュートラルへの貢献を推進**していく。